

「ゼミ・研究室運営について考える（文系編）」

2023 年 11 月 10 日（金）

京都先端科学大学人文学部歴史文化学科
鍛冶 宏介

はじめに

- ・自己紹介

1 ゼミの役割

- ・ゼミってなんだろう
- ・ガチゼミとゆるゼミ —学生からみたゼミの位置づけ—

2 卒業論文の指導

- ・卒業論文の事例
- ・鍛冶の個人的な教育の方針
 - ① 学びのなかでの卒業論文の位置づけ
 - ② 卒業後と大学での学び
 - ③ 達成感と自己肯定感
- ・教員の役割
 - ① 当該分野の研究者としての役割
 - ② 身近にいる大人（先輩）としての役割

3 ゼミ担のお悩み相談コーナー

事前に寄せられた質問です。皆さんからのご助言、お待ちしております。

- ・ゼミ・研究の活動の評価方法（評価指標・基準）、メンタル不安定な学生の対応、真面目に研究に取り組まない学生の対応（他の学生との評価のバランスの取り方など）、就職活動と研究との両立方法、教員との不和による研究室の変更希望の対応
- ・学生がゼミに必要な基礎的知識を十分には持っていない。また、強制的に割り振られるため、学習への動機がない者もいる。
- ・参加者でしか経験がないので、目的・目標から運営まで学びたい
- ・教養教育、専門基礎教育、ゼミ・研究室教育などの間で、どのように教育目標の共有・分担や連携を行っていくかについて、意見・情報の交換がしたいです。特に本学のような理工系大学においては、教養教育と専門教育との間で教育目標をどのように共有し、あるいは分担し、連携していくか、共通言語を作るところから始める必要があり、様々な挑戦課題があると感じています。部門やカリキュラム区分を超えた取り組みを可能にするために、ゼミ・研究室教育の中でどのような力をどうやって育成するか、学生の成長上の課題がどこにあるかを言語化する枠組みを共有する方法について、考えてみたいです。
- ・興味関心がバラバラであるゼミ生にどう統一作業をさせるのが、団結の力を実感させるのに効果的か。また、ゼミ課外活動はみなさんどの程度までのことをされているか。
- ・コロナ禍で入学した卒業研究生が研究室に来ず困っています。